

道路通信 6

発行 道路を考える会 原田 さちこ

道路を考える会は、札幌市の都市計画道路3・2・10 環状通（南19条西7丁目～西15・16丁目）の整備計画について、従来の車優先で車道ばかりの広い道路から、歩行者や自転車などが、快適に利用できる歩道の広い道路に、整備計画を少しだけ変えてほしいと、札幌市へお願いしている市民活動団体です。

南19条沿道の住民の皆様・札幌市民の皆様

わかりやすく、簡単に伝えるために、チラシをつくりました。

みてください。

協力してくださっている市議会議員の方が9月27日の定例市議会で、3・2・10環状通の整備について質問をして下さいました。それに対して、秋元副市長が答弁しました。

秋元副市長の答弁

私から 2項目目から5項目目までの4項目についてお答え申し上げます。

まず最初に、環状通の未整備区間 整備にあたっての車線数のあり方、工事の進め方 ということにお答えをいたします。

環状通は、札幌市の骨格道路交通網であります、2高速・2連携・2環状・13放射道路の一路線に位置づけられておまして、都市内自動車交通の円滑な流れを確保するために重要な道路でございます。

平成18年度に実施をいたしました第4回の道央都市圏のパーソントリップ調査こういった調査に基づく将来交通量推計からも、計画の全線6車線の整備が必要と判断をしたものでございます。

この整備によりまして、都心部を通過せずに迂回することによる自動車交通の円滑化でありますとか、災害時の緊急輸送の迅速化が図られ、冬期間においても除雪作業による4車線の確保ということが可能になりますことから、1年を通じて道路機能が向上するものだと考えててございます。

このため未整備区間について、順次着手をしておまして、昨年南19条の西7丁目から西10丁目の区間について、地元への説明会を実施をし、地域の皆様から概ねのご理解を頂いた後、事業認可を受け、今年度より用地取得交渉を開始しているところでございます。

ご質問にございましたように、6車線整備に関して異論をお持ちの方 等 いらっしゃいますけれども、この道路の性質ということから、ご理解を頂けるように努めて参りたいというふうに考えてございます。

以上が、その内容です。秋元副市長の答弁にあった第4回パーソントリップ調査の結果から、作られた「道央都市圏の都市交通マスタープラン」の中に自動車交通量の将来推計が載っています。

平成18年を100として平成42年は98と減少すると予想されています。交通量は減少すると、推計されていて、6車線の整備が必要と判断したのでしょうか。

道路を考える会 代表 原田 さちこ
幌南小、柏中、藻岩高校、札予備（一浪）、北海道大学水産学部卒業（昭和62年）

道路を変える

市民の多くの声が集まれば、道路は変わる

これからつくる道路について、車優先の道路の形から、歩行者・交通安全・環境優先の道路に変えて下さい。と、札幌市へお願いしています。

多くの市民の声が集まれば、札幌の道路は変わります。ご協力をお願いいたします。

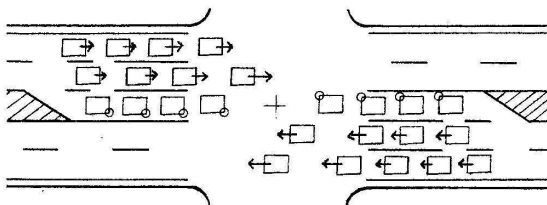
「道路を考える会」は、歩行者・交通安全・環境を優先した道路の形を札幌市へ要望案として、提案し、考えてほしいとお願いしています。

これにかえて!!

歩道が広い

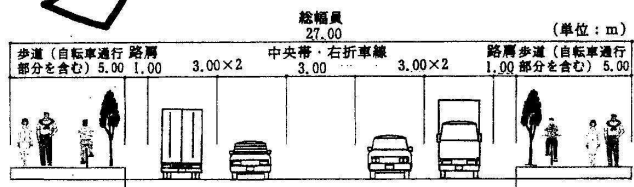
車の流れは同じ

要望案 (車道分5車線分)



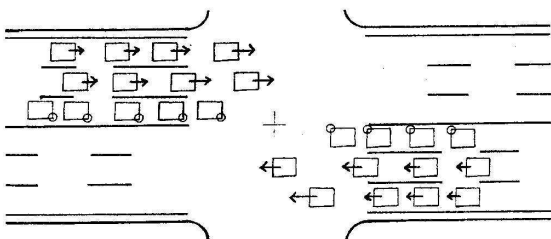
交差点では、右折車は右折の付加車線に入り
直進方向には、歩道寄りの2車線づつが動きます。

要望案 (車道分5車線分)



整備計画 (車道6車線)

整備計画 (車道6車線)



交差点では、青信号であっても
センターライン寄りの車線は、右折車の右折待ちのために止まり、
直進方向には、歩道寄りの2車線づつが動きます。

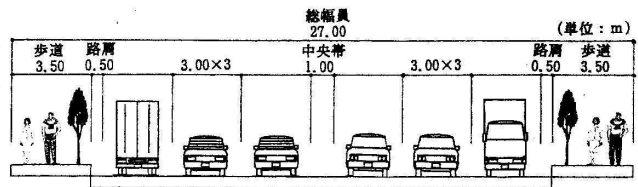
ここ南19条は、

札幌市の特徴である碁盤の目状に道路が整備されており、交差点の多い地域です。

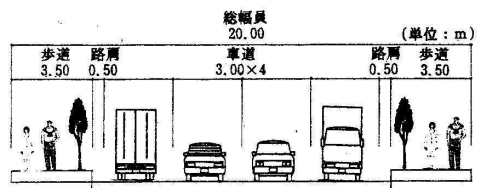
交差点の多い道路では、青信号でも右折する車によりセンターラインよりの車線は車の流れが止まるので、6車線だと双方向のそれぞれ1本づつの車線が止まります。

これを、1つにまとめたのが、要望案の道路です。

車が流れるのは、どちらも両サイドの2車線分ですので、交通容量はほとんど同じであろうと考えられます。



現状 (車道4車線)



『道路を考える会』

代表 原田 さちこ

幌南小 柏中 藻岩高校 札予備 (一浪)

北大水産学部卒 (昭和62年)

道路通信を発行中、あわせてお読み下さい。

6車線が、ほんとうに必要か?!

主要な車の流れは、環状通だろうか。

南19条西7~15・16丁目

藻岩山と豊平川の自然を生かすためには歩道の広い道路を望みます。

南19条は、ロープウェイへつながる道です。

ここで、左折して環状通へ入る車より、道なりに南へ向かう車の方が多い。

東からの車は西7丁目と石山通での右折が多く西へ行くほど車は少なくなる。

この地域は東から豊平川西から藻岩山が迫ってきて背景の地域は狭められている。

豊平川の河川敷は広々として、とても気持ちのいいオープンスペースです。

車の流れは環状通から石山通ではなく、道なりに南へ向い南30条で石山通へ右折する車が多い。

南30条の交差点は右折車線が2本整備されている。

『道路を考える会』とは
3・2・10環状通の整備計画を車中心から、歩行者に優しい形へと変えてくださいと札幌市へ提案している市民活動団体です。
代表 原田 さちこ

道路を考える会の要望案に賛同して下さる方の署名を集めます。

署名目的

3・2・10環状通の整備計画を道路を考える会の要望案の形に変えることを求めます。

氏名	住所

署名の回収はLプラザ(北8西3)2階レターケース242道路を考える会まで、または札幌市中央区原田までお願いします。